



|             |              |
|-------------|--------------|
| 令和元年 7月 10日 |              |
| 所 属         | こども政策課       |
| 所属長         | 清水 徹         |
| 電 話         | 06-6489-6341 |

## 第2回 尼崎市学びと育ち研究所報告会を開催 ～エビデンスに基づいた教育政策を目指して～

### 1 趣旨

本市では子ども一人ひとりの状況に応じ、学力や豊かな人間性、生活習慣など、実社会を主体的に生きていくために必要な力を伸ばしていけるよう、平成29年4月から外部の研究者等を迎えた「尼崎市学びと育ち研究所」を設置し運営しております。同研究所では教育・家庭環境が子どもたちの学力や健康等にどう影響を与えるかなどについて、中長期的な効果測定を用いて科学的根拠（エビデンス）に基づいた先進研究を行い、政策立案につなげていくこととしてきました。

このたび、本市での取り組みや今後の研究内容をご報告するとともに、同研究所の研究員によるディスカッションを行う報告会を開催します。

### 2 イベント名称

第2回尼崎市学びと育ち研究所報告会  
学びと育ち研究シンポジウム「エビデンスに基づいた教育政策を目指して」

### 3 日時・場所

日時 8月23日(金) 午後2時～5時(開場:1時30分)  
場所 関西国際大学 尼崎キャンパス(尼崎市潮江1-3-23) 3階 KUISホール

### 4 主な内容

- (1) 基調講演  
演 題:「非認知能力の育成と影響」  
登壇者:大竹 文雄 所長(大阪大学大学院 経済学研究科 教授)
  - (2) 研究報告  
大竹所長を含む6名の研究員による研究報告
  - (3) 研究員によるディスカッション
- ※ 詳細は別添チラシをご覧ください。

### 5 申込方法

- (1) 電 話 8月6日～20日 尼崎市コールセンター (Tel:06-6375-5639)
  - (2) メール 7月10日～8月20日 こども政策課(下記参照)
- (1)か(2)で氏名と電話番号、参加人数をお知らせください。先着350名まで。  
情報保障を希望される方は、8月13日までにメールかファクスで下記へお知らせください。

#### 【こども政策課 学びと育ち研究担当】

Tel:06-6409-4761  
Fax:06-4950-0173  
E-mail:ama-msk@city.amagasaki.hyogo.jp

以 上

学びと育ち研究シンポジウム

エビデンスに基づいた教育政策を目指して

口頭報告

書面報告



**大竹 文雄**

大阪大学大学院  
経済学研究科教授



**岡田 知雄**

神奈川工科大学  
応用バイオ科学部教授



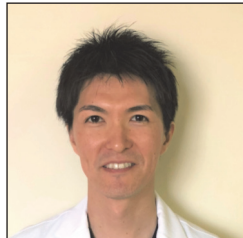
**北野 幸子**

神戸大学大学院  
人間発達環境学研究科准教授



**中室 牧子**

慶應義塾大学  
総合政策学部教授



**西山 将広**

神戸大学大学院  
医学研究科助教



**中尾 繁樹**

関西国際大学  
教育学部教授

●日程

2019年8月23日(金)  
14:00~17:00(開場 13:30)

●場所

関西国際大学 尼崎キャンパス 3階  
KUISホール  
兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号  
JR尼崎駅下車 北西へ徒歩5分

●進行

13:30 開場  
14:00 開会挨拶  
14:10 基調講演  
「非認知能力の育成と影響」  
大竹 文雄 所長  
14:40 研究報告  
各研究員から報告  
15:45 休憩  
16:00 研究員ディスカッション  
16:50 閉会挨拶  
17:00 閉会

●参加費

無料

●定員

350名(先着順)

●お申込み

裏面をご覧ください。

●担当

尼崎市学びと育ち研究所  
TEL 06-6409-4761  
FAX 06-4950-0173  
E-mail:  
ama-msk@city.amagasaki.hyogo.jp

●主催

尼崎市

研究報告

大竹 文雄 所長 口頭

「教育環境が学力に与える影響」

生徒の学力向上を目指すためには、学級規模や教員の特性が学力に与える影響を実証的に分析することが必要である。「尼崎市学力・生活実態調査」から学校の教育環境が学力や非認知能力へ与える影響を明らかにする。

岡田 知雄 主席研究員 口頭

「尼っこ健診・生活習慣病予防コホート研究」

生活習慣病予防として、どのような生活習慣、環境、遺伝的要素、学校成績やスポーツテストの成績などが背景因子として影響を及ぼしているかを明らかにし、尼崎市の子どもから成人までの長いスパンを考慮した生活習慣病の予防に関する施策、教育に生かす。

中室 牧子 主席研究員 口頭

「就学前教育の質が就学後の学力や健康に与える影響」

最近の研究では質の高い就学前教育が就学後の学力等に与えるプラスの効果が大きいことを強調する研究が増えている。尼崎市の保育環境の質が就学後の学力等に与える因果的な効果を明らかにすることを試みる。

中尾 繁樹 主席研究員 書面

「学習や学校生活における困難を改善する指導に関する実践研究」

近年、姿勢や運動など身体づくりが学力向上と連動していることが分かってきており、子どもたちが学習や学校生活上、困難さを感じる原因を探り、改善・予防のための運動プログラムの開発、展開を目指す。

「出生体重等が健康に与える影響」

子どもの健康水準には、出生体重、学校教育、家庭環境など様々な要因が影響を与える。出生体重、学級規模や教員の特性、家庭環境が子どもたちの健康に与える影響を実証的に分析する。

北野 幸子 主席研究員 口頭

「非認知能力の育ちを捉え育む乳幼児教育・接続期教育の開発」

小学校1年生を対象とした非認知能力の育ちを捉える方法を開発し、非認知能力の育成を促す保育者のための実践開発を行う。尼崎市におけるより効果的な就学前教育と接続期教育の浸透に資することを目指す。

「学力に対する相対年齢効果の検証」

生まれ月が就学後の成果に与える影響を「相対年齢効果」と呼び、海外ではすでに多くの研究が行われている。本研究では、学力、健康、体力、行動、教員とのかかわりなどの面で、尼崎市の就学期の子どもたちにも相対年齢効果の存在を確認する。

西山 将広 主席研究員 口頭

「周産期から幼児期までの状況が発達や学力の向上に与える影響」

周産期から幼児期の状況が就学後の心身の発達や学力に影響を与えることが報告されているが、それらを縦断的に追跡することで、心身の発達や学力に与える因子を明らかにする。

# 研究員等プロフィール

「教育環境が学力に与える影響」

「出生体重等が健康に与える影響」



おおたけふみお

**大竹 文雄 所長**

大阪大学大学院経済学研究科教授  
大阪大学経済学研究科修了。大阪府立大学講師、大阪大学社会経済研究所教授等を経て、現職。大阪大学理事、副学長等も歴任。専門は労働経済学。日本学士院賞受賞。大阪大学荣誉教授。主著に『日本の不平等』など多数。

「尼っこ健診・生活習慣病予防

コホート研究」



おかだともお

**岡田 知雄 主席研究員**

神奈川工科大学応用バイオ科学部教授  
1976年、日本大学医学部卒業、2010年から2014年まで日本大学医学部教授。2014年6月より神奈川工科大学応用バイオ科学部栄養生命科学科教授。主な専門は生活習慣病(肥満、高脂血症など)、脂質栄養など。

「非認知的能力の育ちを捉え育む

乳幼児教育・接続期教育の開発」



きたのさちこ

**北野 幸子 主席研究員**

神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授  
神戸大学教育学部卒業、広島大学大学院教育学研究科博士課程後期単位取得満期退学。広島国際大学、福岡教育大学を経て、現在、神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間発達専攻准教授。専門は乳幼児教育学・保育学。

「学習や学校生活における困難を

改善する指導に関する実践研究」



なかおしげき

**中尾 繁樹 主席研究員**

関西国際大学教育学部教授  
大阪教育大学教育学部卒。神戸市小学校教員、同教育委員会職員を経て、2008年から現職。専門は特別支援教育。『特別支援教育の理論と実践』『特別ではない特別支援教育』など著書も多数。

「就学前教育が就学後に与える影響」

「学力に対する相対年齢効果の検証」



なかむろまきこ

**中室 牧子 主席研究員**

慶應義塾大学総合政策学部教授  
慶応大学卒業後、日本銀行入行。同行退職後、世界銀行での勤務を経て、コロンビア大学で博士号(Ph.D.)を取得。2013年4月から現職。専門は教育経済学。主著に「学力」の経済学』『原因と結果』の経済学』など。

「周産期から幼児期までの状況が

発達や学力の向上に与える影響」



にしやままさひろ

**西山 将広 主席研究員**

神戸大学大学院医学研究科助教  
広島大学医学部卒業後、兵庫県立こども病院等を経て、神戸大学大学院医学研究科博士課程入学。2018年、同大学院修了。博士(医学)神戸大学医学部附属病院小児科医員を経て、現職。専門は小児神経学。

## お申込み・お問合せ

### ●メールによるお申込み

8月20日(火)までに下記アドレスにメールでお申込みください。(先着順)

申込アドレス

**ama-msk@city.amagasaki.hyogo.jp**

※お申込の際は①氏名②電話番号③参加人数をご記入ください。

### ●電話によるお申込み ※8月6日(火)8:30から受付開始

8月6日(火)から8月20日(火)までの間にお電話で下記コールセンターへお申込みください。

TEL: **06-6375-5639**

(平日 8:30~19:00 土・日・祝 9:00~17:00)

※手話通訳等の情報保障を希望される方は8月13日(火)までに上記メールまたは当研究所(TEL:06-6409-4761 FAX:06-4950-0173)までお知らせください。



## 尼崎市学びと育ち研究所について

尼崎市学びと育ち研究所は、子ども一人ひとりの状況に応じ、学力、豊かな人間性、生活習慣など、実社会を主体的に生きていくために必要な力を伸ばしていけるよう子どもたちの学びや育ちについて、エビデンスに基づいた研究を行うために設置された研究機関です。

### ○所在地

兵庫県尼崎市若王寺2丁目18番3号

あまがさき・ひと咲きプラザ ひと咲きタワー9階

URL <http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/msk/>

E-mail [ama-msk@city.amagasaki.hyogo.jp](mailto:ama-msk@city.amagasaki.hyogo.jp)